

飲食店や宿泊事業者対象に地場産そば粉レシピ講習会

てしかがえこまち推進協議会食・文化部では、地場産品の活用促進を目指し、飲食店や宿泊業などを営む方を対象に『弟子屈町のそば粉レシピ講習会』を開催します。

町内の飲食店や宿泊事業者などで、ガレット(そば粉のクレープ)など摩周そばを使った料理を提供していただくきっかけづくりと、生産者との交流を目的に企画されたもの。希望される事業者の皆さんは、下記のとおりお申し込みください。

- ▶日時／3月17日(火) 14時～16時30分(13時30分受け付け開始)
 - ▶場所／川湯ふるさと館
 - ▶内容
 - 料理講習(講師／ANAクラウンプラザホテル総料理長 楡金 久幸氏)
 - 摩周そばについての講義(講師／摩周そば生産組合の皆さん)
 - 摩周そばの品質向上に関する研究発表(講師／弟子屈町4Hクラブの皆さん)
 - ▶対象／町内で飲食店や宿泊業などを営む方
 - ▶定員／20人
- ※会場の都合上、少人数での講習会となります。定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ▶参加費／1,000円
 - ▶申し込み方法／電話かファクス、メールで、そば粉のレシピ講習会参加希望の旨と「氏名」「店(宿)名」「電話番号」をお知らせください。
 - ▶申込期限／3月9日(月)
- 申し込み・問い合わせ先／てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係内) ☎482-2940 (課直通) ☎482-5669 メールecomachi@masyuko.or.jpまで。

超観光展でユニバーサルデザイン部会が事例を発表

「超」観光展～バリアを超えるユニバーサルツーリズム～(北海道経済部観光局主催)が1月17日、サッポロファクトリー・アトリウムで行われました。

高齢者や体の不自由な方など、誰でも旅行を楽しむことができるユニバーサルツーリズムへの取り組みを紹介する催しです。会場では、高齢者や体の不自由な方の外出をサポートするさまざまな福祉機器や学生が開発した旅のお役立ちアプリ(スマートフォンなどのソフトウェア)、北海道ならではの自然体験活動や宿泊施設を紹介。障がいのある方はもとより、子ども連れの家族や高齢者の方など1,500人が来場しました。

同時に開催されたシンポジウムには、てしかがえこまち推進協議会ユニバーサルデザイン(UD)部会がパネラーとして参加し、障がいのある方向けのツアーや着地型旅のガイド養成講座の開催など、これまでの取り組みを紹介。北海道の観光振興策の一つに、ユニバーサルツーリズムが加わる可能性が見えてきました。



シンポジウムで活発に意見交換

問い合わせ先／てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係) ☎482-2940(課直通)

『発見! てしかが人』参加者を募集します

てしかがえこまち推進協議会温泉街部会

てしかがえこまち推進協議会温泉街部会では、講座「発見! てしかが人」を開催しています。

大自然や温泉に恵まれた弟子屈というまち。古くからここに暮らし、地元のことを語り伝える人。地元の自然や文化を研究する人。さまざまな知識やスキル(能力)を持つ都会からの移住者。その多くの方は、名前は知っていても、どのような経歴を持ち、どのようなことをされているかは、ほとんど知ることもありません。

「発見! てしかが人」では、このような方々にお会いし、お話を聞くことによって、その方を理解し、親交を深め、弟子屈を再発見することを目標としています。そのため、お話のフィールドは、お話しにちなんだ場所です。

「てしかが人」の懐に深く入り、弟子屈の魅力を再発見してみませんか。

3月の予定

□第14回『弟子屈の畑作』

- ▶期日／3月上旬(詳しい日時や場所については、お問い合わせください)
- ▶講師／猪狩 広昭さん
- ▶内容／畑作農家の2代目として、機械化された大規模農業を営まれる猪狩さん。基本の作物を守り、育てる中で苦労されたことや、これからの展望などをお話いただきます。ソバの工場見学もできるかもしれません。

□第15回『弟子屈の酪農』

- ▶日時／3月19日(木) 14時～15時30分
- ▶場所／渡辺体験牧場(弟子屈原野)
- ▶講師／渡辺 隆幸さん
- ▶内容／観光で訪れるお客さまに、さまざまな酪農体験を楽しく紹介している渡辺さん。キーワードは「こころ」。生産者と消費者が直接触れ合うことで理解と安心が得られることを、実際に酪農体験を通して教えていただきます。

※参加料は1回につき500円(高校生以下無料)

※現地集合・現地解散

※当日参加もできますが、なるべく事前のご予約をお願いします。

□予約・問い合わせ先／てしかがえこまち推進協議会温泉街部会 酒巻 ☎090-6446-7230まで。

これまでの内容

第11回『北緯43° 雪と氷の世界から』(1/25)

講師は蜂谷衛さん。

地球全体から世界の中の日本、そして日本全体の中の北海道 弟子屈町をズームインするようにひも解いて、この町がどんなに恵まれた環境にあるのかを、データと実物から見せていただきました。

屈斜路湖の氷の上にテントを張り、泊まり込みでデータを取っていたこともあるなど、30年にわたる膨大かつ克明な記録を整理して残している蜂谷さん。氷の中で花ができてゆくチンダル現象のスライド上映のほか、雪やダイヤモンドダストの結晶の顕微鏡観察を行っていただきました。



蜂谷さんの話に聴き入る参加者

第12回『弟子屈町の水道』(2/3)

講師は坂井宏さん。

湧き水や川の水、地下水を水源とする弟子屈町のおいしい安心な水。摩周湖の伏流水というけれど本当にそうなのか? この、おいしさの秘密は何なのか?

普段、何気なく飲んでいる水ですが知らないことばかり。参加者からも質問や感想など活発な意見が出され、楽しく学ぶことができました。



役場水道課長が水道について説明

問い合わせ先／てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係) ☎482-2940(課直通)